
valuedesign

2018年6月期

第3四半期決算 補足説明資料

2018年5月15日
株式会社バリューデザイン

1. 2018年6月期第3四半期決算

2. 事業の進捗状況

主要指標・業績とも順調に推移、上期獲得案件の稼働も進む

連結売上高 **1,532** 百万円 (前期比 119.2%)

連結営業利益 **57** 百万円 (前期比 +73百万円)

2018年6月期 第3四半期トピックス

① 取扱高・システム利用料は引き続き順調に伸長

- ・スーパー・カフェ等の利用好調、スマホアプリ連携の効果継続、株主優待券電子化、上期獲得案件の稼働開始等により**システム利用料売上は前期比27.6%増**と順調

② 一部初期売上の早期計上により、利益は一時的に計画超過

- ・各段階利益は当初計画を超過も、4Q計上予定の開発案件が早期完了に伴い3Q中に計上された影響であるため、**通期計画は変更なし**

③ 海外は大型案件の稼働が進み、成長フェーズに向け投資加速

- ・東南アジア3か国で**大型案件を受注または稼働済**。各社の成功事例化とそれを以ての新規案件獲得に向けて体制・サービスを強化

連結P/L(2018年6月期第3四半期 累計期間実績)

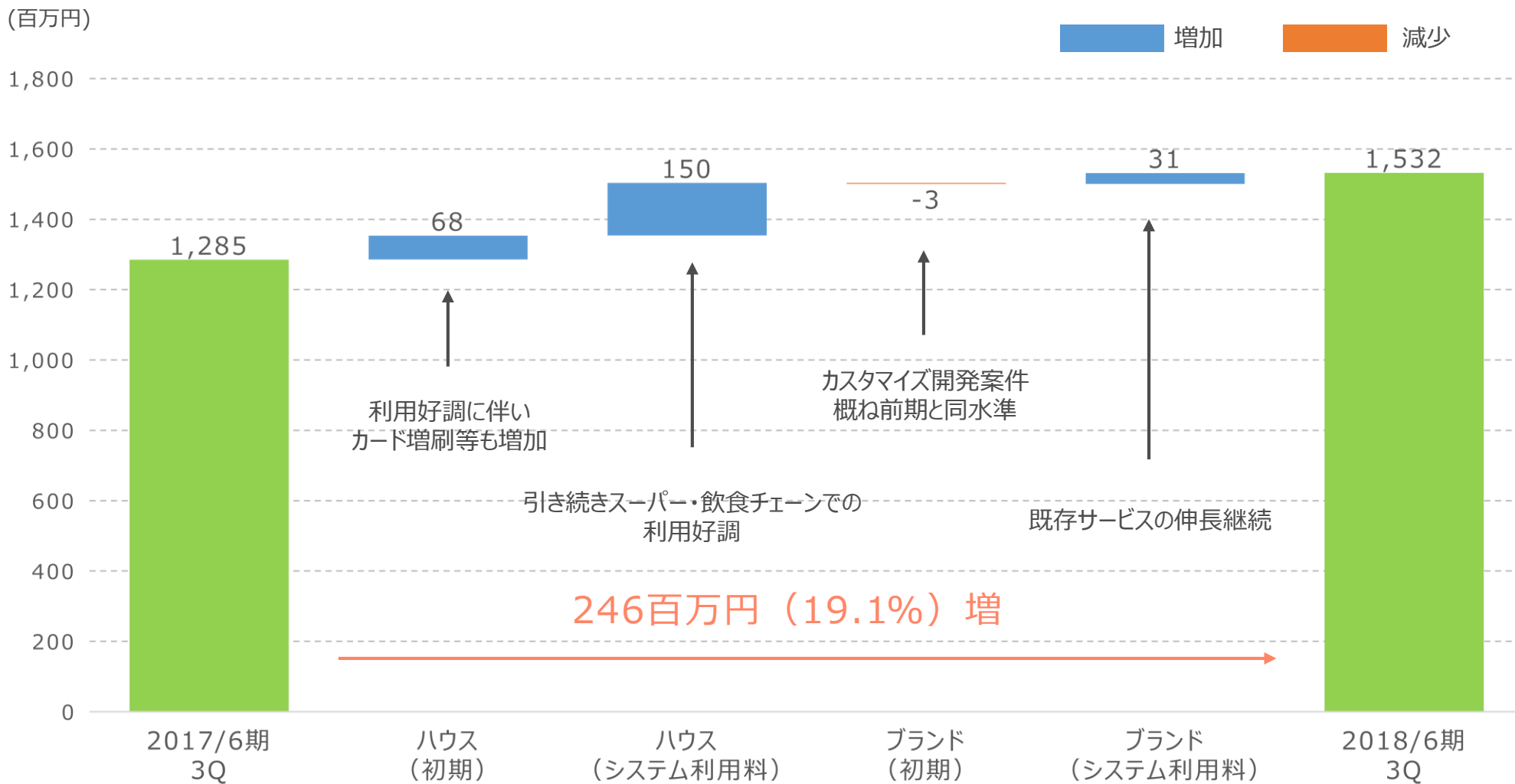
システム利用料の比率増により、好採算のスポット案件があった前期と同水準の粗利(①)を安定的に確保できるようになり、かつ販管費上昇は抑制(②)したことで損益は良化傾向

(百万円)

	① 2018年6月期 第3四半期 (実績)	② 2017年6月期 第3四半期 (実績)	前年同期比 (①÷②)	③ 2018年6月期 (通期予想)	進捗率 (①÷③)
売上高	1,532	1,285	119.2%	1,897	80.8%
(初期売上)	695	630	110.4%	805	86.4%
(システム利用料売上)	837	655	127.8%	1,092	76.7%
売上総利益	① 629	514	122.4%	782	80.4%
販売費および一般管理費	② 571	530	107.7%	731	78.1%
営業利益または営業損失	57	-16	+73百万円	50	114.0%
経常利益または経常損失	47	-44	+91百万円	30	156.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益または四半期純損失	40	-77	+117百万円	15	266.7%

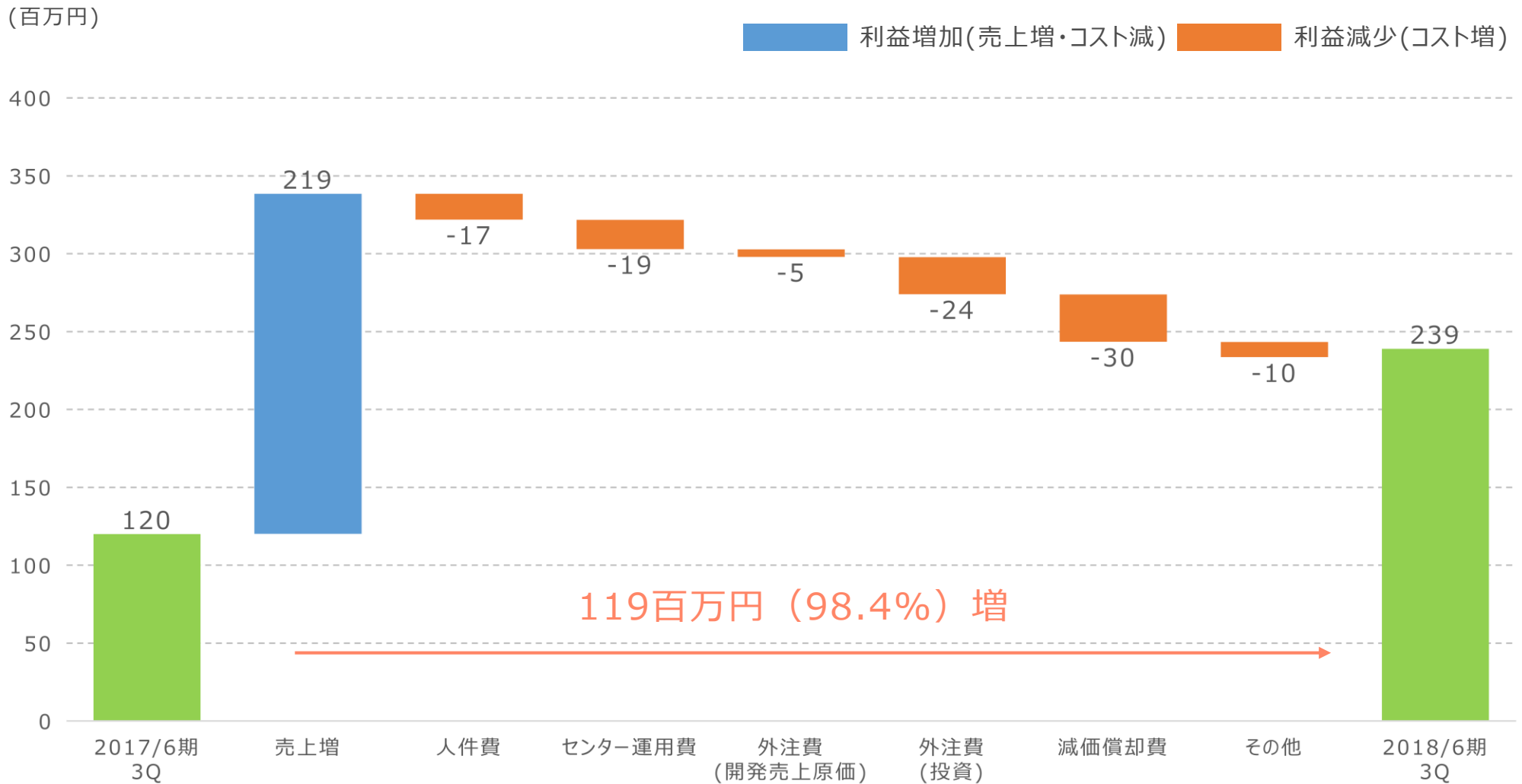
第3四半期連結売上高の増減要因

ハウスプリペイド事業では、システム利用料の増加(プリペイド利用好調)に伴うカード追加増刷等の売上も増加しており、好循環を生んでいる



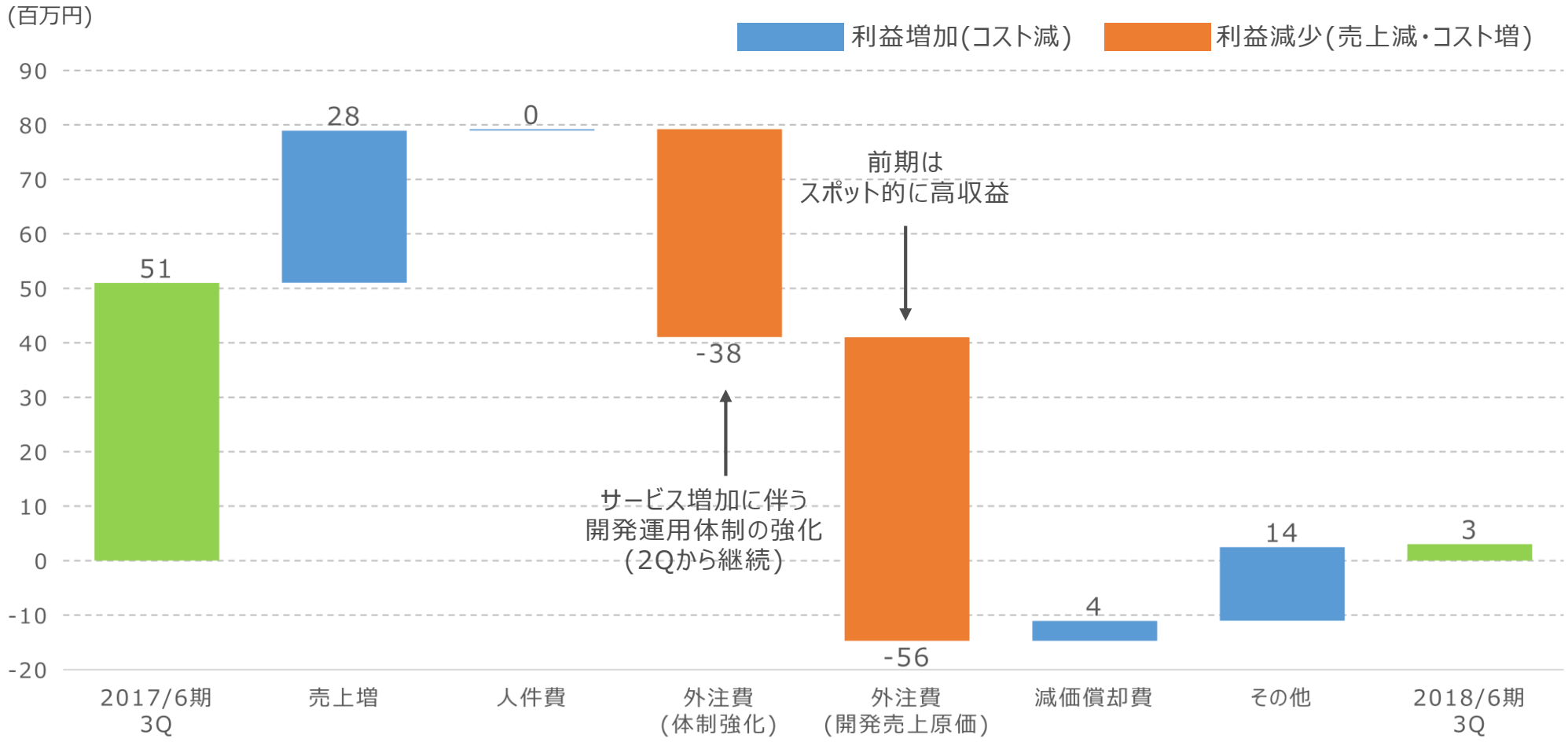
第3四半期連結営業利益の増減要因（ハウスプリペイド）

粗利率の高いシステム利用料の増加(前期比+26.8%)に加え、業務効率化等によりコスト上昇の抑制(販管費前期比+11.9%)を行い、セグメント利益はほぼ倍増



第3四半期連結営業利益の増減要因（ブランドプリペイド）

体制強化を行い、3Q中に新規案件を複数稼働。既存案件と併せ、今後のシステム利用料収入を拡大



48百万円 (94.1%) 減

単体P/L(2018年6月期第3四半期 累計期間実績)

連結対象子会社（海外4社）を除いた営業利益は124百万円（＝海外営業損失67百万円）

海外の損失は人件費や拠点運営費用等の先行投資分

(百万円)

	① 2018年6月期 第3四半期 (実績)	② 2017年6月期 第3四半期 (実績)	前年同期比 (①÷②)	③ 2018年6月期 (通期予想)	進捗率 (①÷③)
売上高	1,515	1,268	119.5%	1,858	81.5%
(初期売上)	678	612	110.8%	790	85.8%
(システム利用料売上)	837	656	127.6%	1,068	78.4%
売上総利益	627	515	121.7%	795	78.9%
営業利益または営業損失	124	17	729.4%	139	89.2%
経常利益または経常損失	109	-27	+136百万円	121	90.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益または四半期 純損失	76	-60	+136百万円	103	73.8%

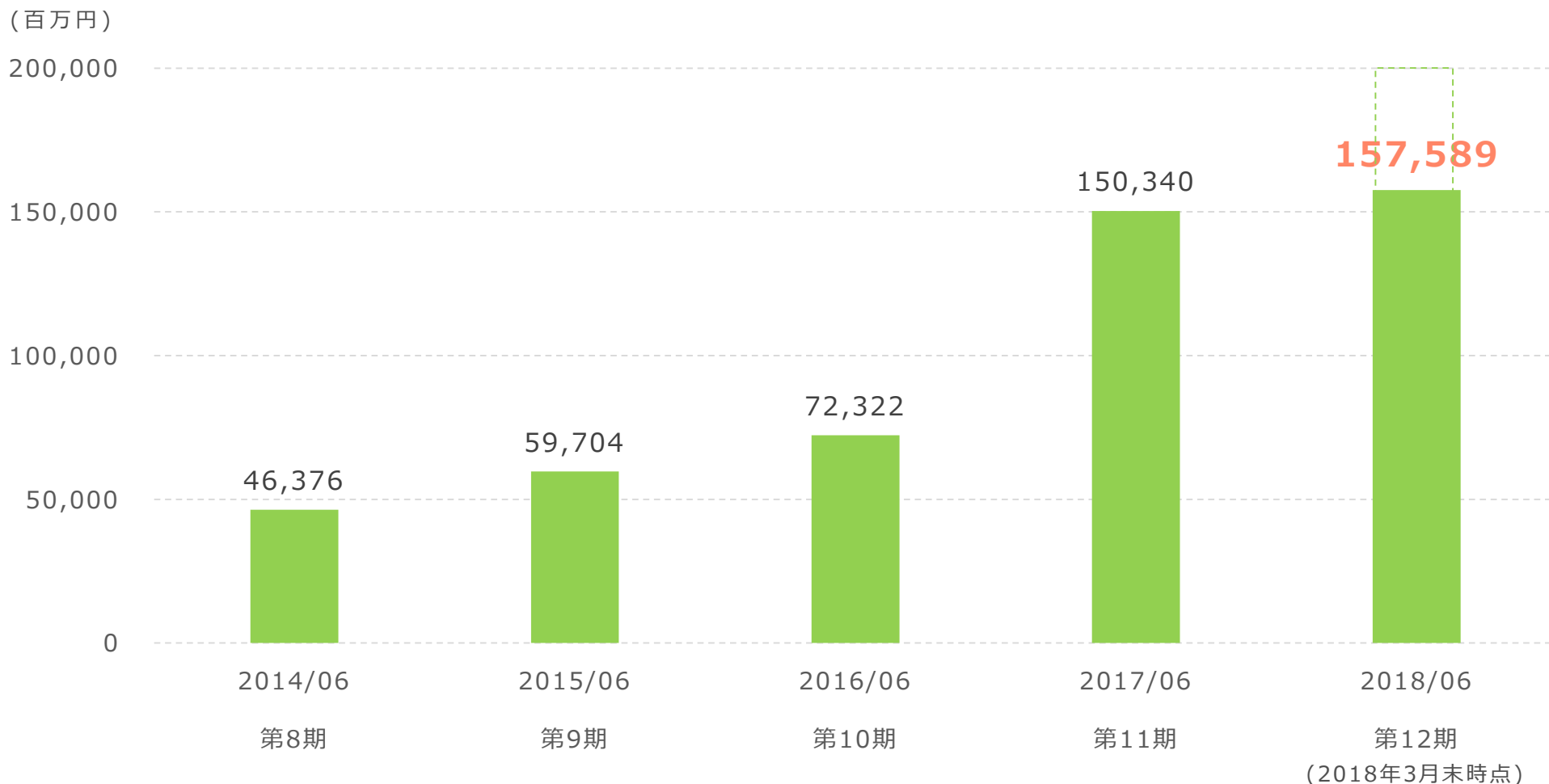
1. 2018年6月期第3四半期決算

2. 事業の進捗状況

ハウスプリペイド事業の状況（取扱高）

取扱高の成長は引き続き順調。前年同期比148.7%、3Q時点で前期の通年実績に到達し通期での2,000億円超えが視野に

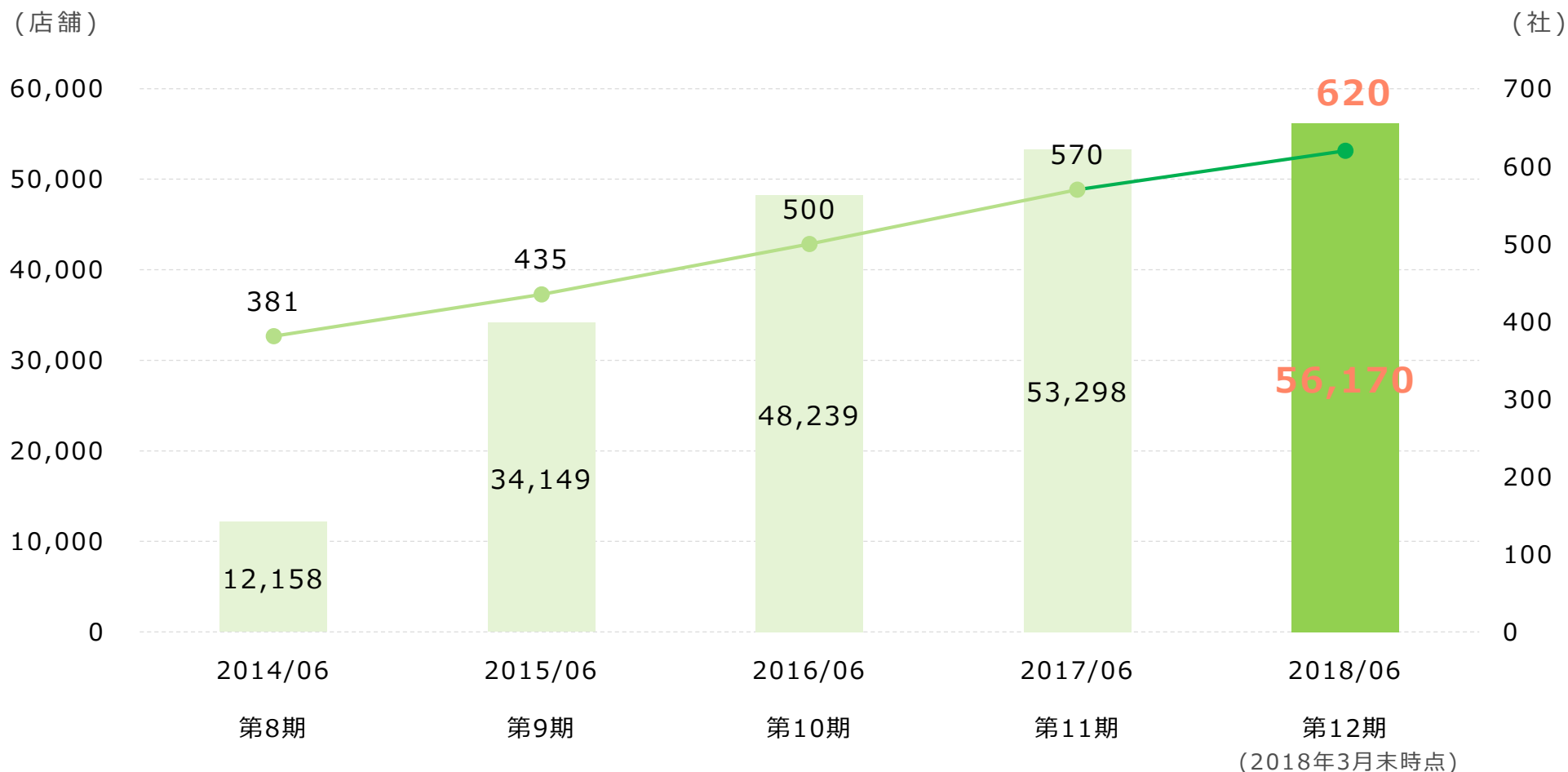
<年間取扱高(=プリペイドチャージ額)の推移>



ハウスプリペイド事業の状況（店舗数・導入社数）

導入社数は600社突破。引き続き店舗数より1店舗あたりの入金・利用意向の高い業態をターゲットにしていることもあり、落ち着き傾向

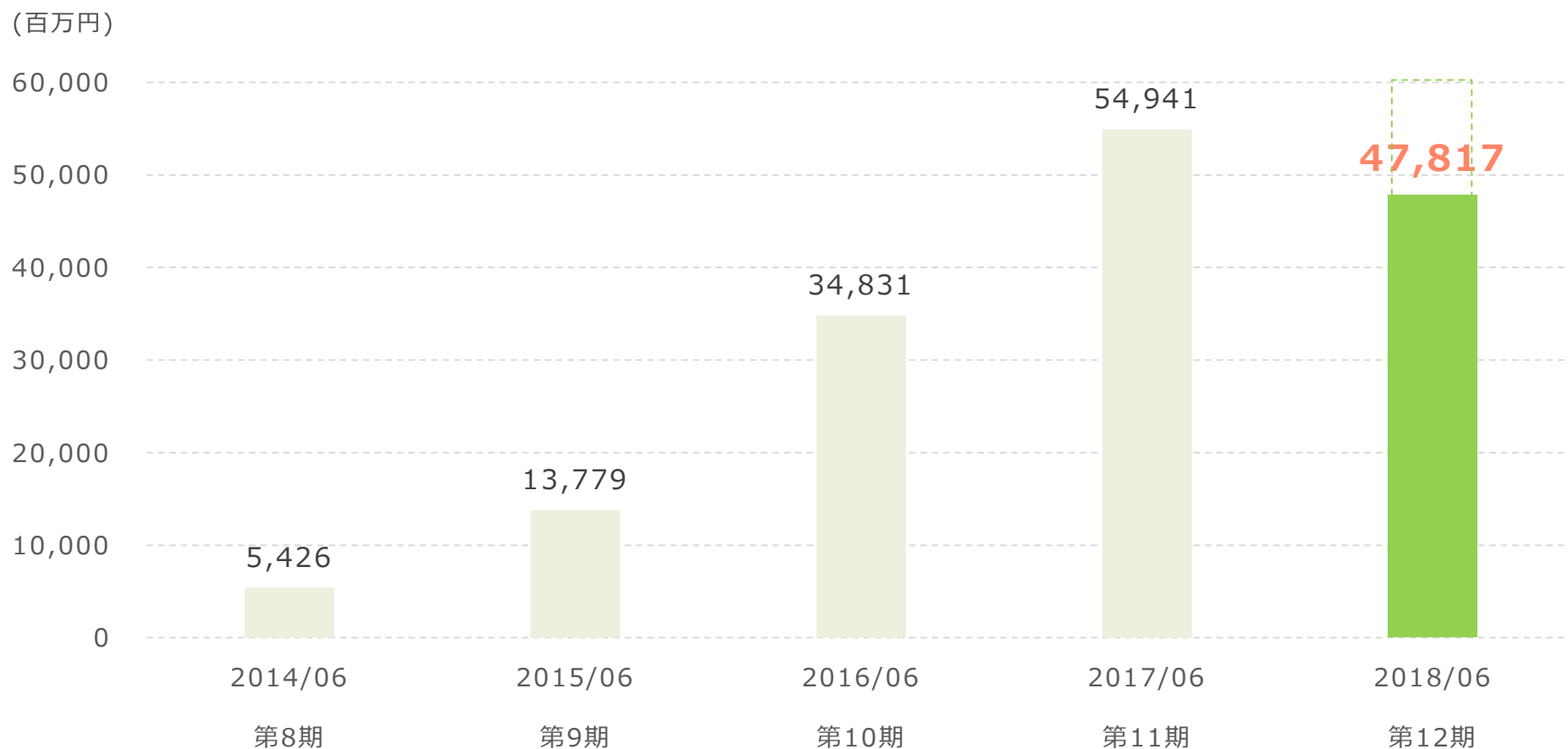
<累計導入店舗数の推移>



ブランドプリペイド事業の状況（取扱高）

既存案件の成長が継続し前年同期比112.2%、通期では600億円程度が予想される

<年間取扱高(=プリペイドチャージ額)の推移>



(2018年3月末時点)

本資料の作成にあたり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。

また、将来に関する記述が含まれている場合がありますが、実際の業績は様々なリスクや不確定要素に左右され、将来に関する記述に明示又は黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。

本資料及びその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が、その他の目的で公開又は利用することはできません。